



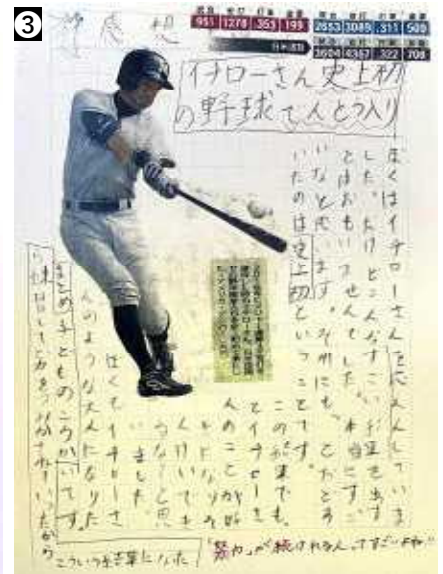
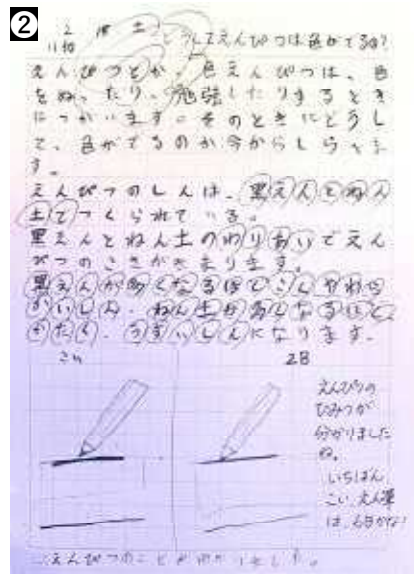
自主学習の楽しみ方

玄関ホールの自主学習ノート掲示コーナー【→写真】が更新されています。

ここでは学年毎に、自主学習ノートのページが紹介され、「友達のノートを見て、『いいな』^{おも}と思うところを見つけて、これからの参考^{さんしやう}にしましょう」とメッセージが添えられています。

自主学習ノートの取組については、本通信No.34『自主学習に取り組みます』(R6.9.13)や、No.39『Good! 自主学習ノート掲示の取組』(R6.10.2)でも紹介し、継続的に

取り組んでいます。児童が足を止めて注目していたので、のぞき込んでみました。



- ①…生活科で行ったたこあげの様子とその時の心情を、絵と文で表しました。
 - ②…なぜえんぴつは書けるのか？素朴な疑問(?)について調べ、まとめました。
 - ③…イチロー選手のMLB野球殿堂入りの記事から、“史上初”と“努力”をキーワードにして感想をまとめました。よく伝わるように記事からの切り抜きを有効に使っています。
- これらは、勉強or遊びと問えば、いかがでしょう。私たち大人も、仕事なんだけどつい深追いしてしまう時ってありますよね。学校教育を通して「自主性」を育むには、教科の枠を超え、児童の興味や関心に基づく活動が有効ではないかと取り組んでいます。「二兎追うものは…」との言葉もありますが、この自主学習ノートは、毎回追うものは違っていいのかもしれない。探求する楽しさが身に付くことがねらいですから。